

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 652 号

平成30年 2月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 大橋 邦啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会が大分県で開催	1
埼玉県獣医師会の新年会に出席	4
埼玉県農業技術研究センター成果発表会に出席	5
予告	
南支部学術講習会のお知らせ	7
ひろば	
顧問税理士による所得税の確定申告等個別相談会を開催	8
さいたま市支部学術講習会開催報告	8
西支部学術講習会開催報告	9
北支部学術講習会開催報告	9
平成29年度東支部新年会報告	10
第141回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告	10

お知らせ

動物用医薬品等取締規則一部を改正する省令の制定について……………11

切り抜きニュース

- アライグマ専用にわな……………12
- 犬の鳴き声で「病気になった」、飼い主は「関係なし」裁判所の判断は……………12
- 犬の問題行動、生後8週以降の「引き離し」で減少……………14

埼玉県獣医師会学術広報版……………15

事務局より

事務局メモ……………16

編集後記……………17

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

平成29年度日本獣医師会獣医学術学会 年次大会が大分県で開催

日本獣医師会主催の平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会が、大分県別府市で次のとおり開催されました。

日 時 平成30年2月10(金)から12日(月)までの3日間
会 場 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
参加登録者 2,000名



会場全景



会場入口

1 主なプログラム

(1) 地区学会長賞受賞講演

全国9ブロックの獣医学術地区学会で地区学会長賞を受賞した研究演題が発表されました。各学会での発表演題数などは次のとおりです。

- (1) 日本産業動物獣医学会
発表演題数 23題(うち関東・東京合同地区 2題)
学会長 佐藤 繁 岩手大学農学部教授
- (2) 日本小動物獣医学会
発表演題数 19題(うち関東・東京合同地区 2題)
学会長 佐藤れえ子 岩手大学農学部教授
- (3) 日本獣医公衆衛生学会
発表演題数 15題(うち関東・東京合同地区 1題)
学会長 丸山総一 日本大学生物資源科学部教授

《獣医学術学会賞の受賞講演》

これらの発表の中で獣医学術学会賞を受賞した講演は次のとおりです。

【産業動物部門】

ウマ顆粒膜細胞腫に対するAMH診断基準値の設定
村瀬晴崇(日本中央競馬会 日高育成牧場)、他

【小動物部門】

犬の副腎腫瘍の鑑別診断における造影超音波検査の有用性
南雲隆弘(日本大学)、他

【公衆衛生部門】

牛枝肉の冷却工程における管理基準(CL)の設定 - 冷却曲線と多変量解析 -
葛岡功弥子(豊橋市食肉衛生検査所)、他

(2) シンポジウム

小動物、産業動物、公衆衛生の各分野をはじめ、獣医師の職場環境やワンヘルスに関する日本医師会との連携シンポジウムなど、幅広い分野で数多くのシンポジウムが開催されました。

(3) 市民公開シンポジウム・市民公開講座

市民に公開されたプログラムは以下のとおりでした。

- ア 災害時の動物救護 - 被災動物救護の今後の展開 -
- イ おいしさに着目した大分県の畜産物ブランド戦略
- ウ ナゾに包まれた動物たち
- エ 「物愛護を考える - 犬・猫の殺処分ゼロを目指して」・「この街の命に」
- オ 人々の生活を守る管理獣医師の役割
- カ 学習指導要領に則った効果的な動物飼育

《本会会員が発表した講演》

日本獣医師会が主催した市民公開シンポジウム「人々の生活を守る管理獣医師の役割」では、大橋邦啓先生(北支部)が「肉牛飼育における管理獣医師の役割 - 食の安全に対する生産者のアプローチ」について講演しました。

また、同シンポジウムでは、埼玉県からさいたま市消費者団体連絡会代表の廣田美子氏が「消費者から見た食の安全・安心」について講演しました。

(4) 教育講演など

この他、モーニングセミナー、ランチョンセミナー、イブニングセミナーをはじめ、各種の教育講演や動物看護師を対象にしたセミナーなどが行われました。



講演する大橋邦啓先生



左から 安東隆大分県副知事、小暮一雄副会長、北村直人日本獣医師会顧問
高橋三男埼玉県獣医師会会長、藏内勇夫日本獣医師会会長、中村滋副会長、林繁雄理事

2 歓迎交流会

11(日)の午後6時からは、ビーコンプラザ1階コンベンションホールを会場にして大分県獣医師会の主催による歓迎交流会が開催されました。

まず、交流会の主催である大分県獣医師会を代表して麻生哲会長が、また、学会並びに年次大会の主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶したあと、来賓の安東隆大分県副知事や長野恭紘別府市長等から歓迎の挨拶があり、北村直人日本獣医師会顧問の乾杯により懇親に入りました。

歓迎交流会には、全国の獣医師会会員を始め、各学会の運営委員や行政機関の方々などが参加し、和やかな雰囲気の中で交流を深めておりました。

終演にあたり、次期開催担当の神奈川県獣医師会の皆様が壇上に上がり、代表して鳥海弘会長が平成30年度神奈川大会への参加を心からお待ちしていると挨拶しました。

なお、次回の年次大会の開催日程は、次のとおりです。引き続き、会員の先生方の御協力をお願いします。

平成30年度

開催地 神奈川県横浜市(新横浜プリンスホテル)

期 日 平成31年2月8日(金)～10日(日)



右から 高橋三男埼玉県獣医師会会長
交流会を主催した麻生哲大分県獣医師会会長

広告

大切な愛犬、
飼い主の皆様、
社会のために

動物用医薬品 劇要指示 (狂犬病組織培養不活化ワクチン)

狂犬病TCワクチン“化血研”

製造販売



化血研

一般財団法人

化学及血清療法研究所
熊本市北区大塚一丁目6番1号 〒860-8568

本 所 ☎(096) 345-6505(営業直通)
東京営業所 ☎(03) 3443-0177

埼玉県医師会の新年会に出席

平成30年2月3日(土)午後6時から、パレスホテル大宮で開催された埼玉県医師会主催の創立70周年記念新年会「2018新春の集い」に高橋三男埼玉県獣医師会会長が来賓として招待され、中村滋・小暮一雄副会長とともに参加いたしました。

新年会には、国会議員や県議会議員、市町村長など多くのご来賓が招かれるなか、医師会会員をはじめ医療関連団体など600名を越す方々が出席しました。

主催者の金井忠男埼玉県医師会長の挨拶と来賓代表の横倉義武日本医師会会長、上田清司埼玉県知事の挨拶などに続いて行われた「鏡開き」には高橋会長も登壇されるなど、盛大な新年会となりました。



鏡開きには高橋三男会長が登壇(左から3人目)

高病原性鳥インフルエンザをはじめとする多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や、食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められ、平成25年12月に「公益社団法人日本医師会と公益社団法人日本獣医師会の学術協力に関する協定書」が締結され、翌年10月には「一般社団法人埼玉県医師会と公益社団法人埼玉県獣医師会の学術協力の推進に関する協定書」を締結しました。その後、全国47都道府県の獣医師会が同様の協定を締結しています。

また、昨年11月には第2回世界獣医師会—世界医師会"One Health"に関する国際会議が福岡県北九州市内で開催されるなど、獣医師会と医師会の連携が益々強まる中、埼玉県医師会や関連団体との交流を深めることができました。

平成29年度埼玉県農業技術研究センター試験研究成果発表会

平成30年2月2日(金)、熊谷市の埼玉県農業大学校を会場として、埼玉県農業技術研究センター試験研究成果発表会が開催され、高橋三男会長が出席しました。

午後1時20分から篠崎豊埼玉県農林部長が挨拶を述べた後、大教室、講堂の2か所に分かれて発表会が行われました。

畜産をはじめ、水稻や麦などの主穀、果樹、施設野菜、露地野菜、鳥獣害の各分野の発表が行われたほか、展示会場では、実物やパネルで研究成果が展示されました。

鳥獣害で発表されたアライグマの捕獲器は新聞やテレビなどで報道されていたので、発表内容を紹介させていただきます。

(切り抜きニュースに関連記事を掲載)



彩の国地鶏タマシヤモの展示
左から高橋三男会長、福田昌治農業技術研究センター担当部長
(農林支部)

錯誤捕獲を解消したアライグマ専用捕獲器の開発

生産環境・安全管理研究担当 鳥獣害防除研究 小川 倫史

(1)ねらい

特定外来生物に指定されたアライグマは全国的に増加傾向で、捕獲が増殖のスピードに追い付いていない状況となっています。原因のひとつはハクビシン、タヌキ、アナグマ、テン、ネコなどが先に捕獲されてしまう錯誤捕獲であると言われています。アライグマの対策に苦慮している地域では、効率的に捕獲できて錯誤捕獲を発生させない専用の捕獲器の開発が求められています。そこで、アライグマと錯誤捕獲される動物の行動特性の違いを明らかにし、アライグマだけで作動する「筒型トリガー」を開発しました。また、「筒型トリガー」を使用することでアライグマを二足起立させることができるので、捕獲器の奥行きを短くすることが可能になります。この技術を使って問題となっている錯誤捕獲の解消とコンパクト化を実現した捕獲器を(有)栄工業と共同開発しましたので報告します。

(2)研究内容

ア 専用トリガーの開発

アライグマは前肢を手のように使い狭い隙間などの奥の方にあるエサを取ることができます。この行動はアライグマが持つ特徴的な行動です。今回開発した専用の「筒型トリガー」はその得意な行動を利用したもので、アライグマだけが作動させることができます。実験は筒内部のトリガーの位置を変えながら錯誤捕獲が発生しない位置を測定しました(図1)。実験の結果、開口部から17cmの深さにトリガーをセットすることで、ハクビシン、タヌキ、アナグマ、テン、ネコの錯誤捕獲を解消できることが明らかになりました。

イ 専用捕獲器の開発と現地実証実験

「筒式トリガー」は高さがあるため市販されている箱罠には装着できません。装着するためには通常より高さのある形状が必要です。専用捕獲器の形状を決めるため「筒式トリガー」の開発と同時に行ってきた、

奥行きによる侵入行動比較実験では開口部が同じであれば奥行きが短いほど侵入行動が多いとの結果になりました。また、「筒型トリガー」の位置によっては後肢で立ちながら採食行動を行うことも観察されています。これらの結果から、専用捕獲器は開口部を市販の箱罠と同サイズ（W310mm,H360mm）にして、高さは高く（H470mm）、奥行きは短く（450mm）することでコンパクトな形状にすることができました。この専用捕獲器に「筒型トリガー」を組み入れて野生個体による捕獲実験を実施し、効果の検証を行いました(図2)。結果は問題となる錯誤捕獲は発生せず、アライグマの捕獲も順調に進んでいます(表1)。

(3) 今後に向けて

開発した専用捕獲器は、(有)栄工業と共同特許・共同意匠登録出願中であり、平成30年度より販売を予定しています。また、錯誤捕獲を問題としている市町村を対象に、捕獲器の導入を推進するとともに農作物や生活環境被害および生態系に係る被害の軽減と拡大防止に役立てたいと考えています。

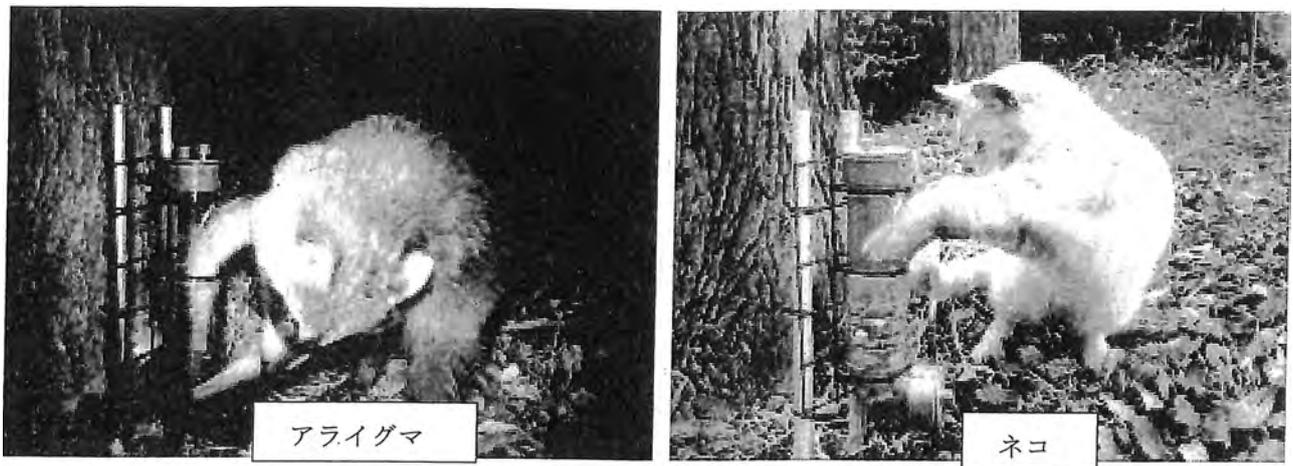


図1 前肢到達位置の測定



図2 捕獲実験の様子（捕獲器に入るアライグマ）

表1 各試験区の対象獣種と捕獲頭数

試験区		アライグマ	ネコ	タヌキ	ハクビシン	アナグマ	テン	イタチ	カラス
① 罨設置数:2 稼働日数:102日	訪問回数	19	57	45	2	0	0	1	12
	罨内侵入	12	6	24	0	0	0	0	1
	捕獲頭数	3	0	0	0	0	0	0	0
② 罨設置数:2 稼働日数:55日	訪問回数	18	42	7	0	2	0	5	31
	罨内侵入	13	21	0	0	2	0	1	12
	捕獲頭数	5	0	0	0	0	0	0	0
③ 罨設置数:1 稼働日数:65日	訪問回数	23	226	0	0	0	0	3	12
	罨内侵入	4	28	0	0	0	0	0	1
	捕獲頭数	1	0	0	0	0	0	0	0
④ 罨設置数:2 稼働日数:58日	訪問回数	13	11	37	0	0	0	0	0
	罨内侵入	5	5	1	0	0	0	0	0
	捕獲頭数	1	0	0	0	0	0	0	0

予 告

南支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1))

南支部長 田中 裕
学術委員 大野 潤

南支部では、3月25日(日)に学術講習会を開催します。

講師の先生は、どうぶつの総合病院 画像診断科 主任 米国画像診断専門医 福田 祥子先生をお招きいたします。テーマは「腹部超音波検査(主要臓器の読影)」です。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

- 日 時 平成30年3月25日(日)
14:00 ~17:00 (受付13:30~)
- 場 所 大宮ソニックシティビル 905会議室
さいたま市大宮区桜木町1-7-5
TEL 048-647-4111
- 演 題 「腹部超音波検査(主要臓器の読影)」
- 講 師 どうぶつの総合病院 画像診断科
主任 米国画像診断専門医
福田 祥子 先生
- 参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員外の受講者 5,000円



ひろば

顧問税理士による所得税の確定申告等個別相談会を開催

平成29年所得税確定申告時期を迎え、本会顧問税理士 間嶋順一先生による「所得税の確定申告並びに生前贈与・相続等の個別相談会を、2月2日（金）、埼玉県農業共済会館206会議室で開催しました。

この相談会は、会員の税務申告の便宜を図るため、毎年度開催しているものですが、この日、相談に訪れた会員は持参した資料を基に相談を受けておられました。

相談会を終えた顧問税理士の間嶋先生によると、個人事業の確定申告はこの時期にピークを迎えますが、普段から「現金の出入の記録を現金出納帳へ確実に記入しておく」、「領収書等の証拠書類を整理(例えば日付順など)しておく」ことが重要であり、継続的に取組んでいただきたいとお話されておられました。

なお、税制も毎年変わっておりますので、相談を希望される場合は事務局を通じてお申し込みください。



個別相談に応じる顧問税理士 間嶋順一先生

さいたま市支部学術講習会開催報告

さいたま市支部長 山中 利之
学術委員 土谷 寛

1月21日（日）WithYouさいたまにて、さいたま市支部学術講習会を開催いたしました。

DVMsどうぶつ診療センター横浜 二次診療センター 小林 聡先生をお招きし、「視診・触診からの整形外科疾患へのアプローチ 前肢編」という演題でご講演いただきました。

歩行動画、検査の基本となる触診動画、透視下での動画などを交えどの様に診断・治療を行なっていくか、大変わかりやすい講習でした。これほどわかりやすい講義を受けたのは、初めてのように思いました。おかげさまで大変有意義な研修会となりました。ご参加いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

また、次回3月4日（日）ソニックシティビルで予定しております「視診・触診からの整形外科疾患へのアプローチ 後肢編」も多くの先生方のご参加をお待ちしております。

＜参加者内訳＞

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
42名	26名	3名	1名	1名	1名	9名	1名

西支部学術講習会開催報告

西支部長 別部 博司
 学術委員 佐藤 博司

1月28日（日）川越南文化会館 ジョイフルにて西支部学術講習会を開催いたしました。犬と猫の皮膚科 村山信雄先生（代表）をお招きし、『皮膚科治療アップデート～何をいつ使うのか』という演題でご講演いただきました。

明日からの『皮膚科治療』に生かせる犬アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの最新知識をご自身のご経験をふまえて、大変わかりやすく講演いただきました。またニキビダニの治療に関しても、新しい治療に関するデータを正しく解釈できる考え方を教えていただきました。講師の村山先生、御参加いただいた多くの先生に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
33名	4名	2名	21名	0名	1名	4名	1名

北支部学術講習会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
 学術委員 田口 正行

2月4日深谷のアリオ深谷にて北支部学術講習会を開催しました。

講師として、日本小動物がんセンターセンター長、獣医内科学専門医（腫瘍学）、アジア獣医師内科学専門医の小林哲也先生をお招きして、『分子標的薬の使い方：肥満細胞腫から各種固形癌まで－イマチニブとトセラニブを上手に使いこなす方法－』をテーマにご講演を頂きました。

分子標的薬がなぜ効果を示すのかを分かりやすい例えで説明していただきました。例えば、リガンドはドミノ倒しの駒を初めに倒す人みたいのもの、kit変異があると、呼び鈴の奥が壊れていてピンポンし続けているようなもの、などなど、とても分かりやすい内容でした。

またイマチニブとトセラニブの作用部位の違い、今後分子標的薬が効果を示す可能性のある腫瘍、猫での使用方法など、1日かけて分子標的薬をみっちり学習しました。

質問も沢山出て、とても有意義な研修会でした。懇親会は深谷駅前の居酒屋さんに移動して行い、和やかなひと時をすごしました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
40名	5名	1名	0名	18名	3名	4名	9名

平成29年度東支部新年会報告

東支部長 渋谷 正志

1月21日（日）越谷市 越谷サンシティにて平成29年度東支部新年会を開催いたしました。

支部員の先生方62名の出席、来賓としてご多忙の中、高橋三男埼玉県獣医師会会長、中央家畜保健衛生所 所長 丸山盛司先生、熊谷家畜保健衛生所所長 宇田川浩一先生にご臨席を賜り、また獣医師会賛助会員の方々の出席と大変盛大な新年会となりました。

第1部では、長谷川副支部長の司会で、支部長の新年の挨拶、業務連絡をつつがなく行い、高橋会長に新年の祝辞のお言葉を頂きました。

第2部では、青山副支部長の司会で、初めに丸山盛司先生に祝辞のお言葉、宇田川浩一先生に乾杯の挨拶を頂き宴会の開始となりました。

また宴会の盛り上げ余興として幸手班 大橋先生主導のもと女性ボーカリストのステージ、大橋先生のエレキギターの演奏で大いに宴会を盛り上げてくれました。

そして2時間の宴会時間もあっという間に過ぎ去り、会の最後は八木前東支部長の挨拶と一本締め、大トリを中村県獣医師会副会長の指揮のもと東支部へのエールの合唱でしっかりと締めました。

普段なかなかゆっくりと支部員の先生同士で食事をしたり、お酒を飲むことが出来ないため、本年度も東支部の一致団結を確認できた1日でした。

第141回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長 長谷川 繁雄
幹事 農林支部 斉藤 良幸

平成30年2月8日木曜日、熊谷市の熊谷ゴルフクラブにおいて第141回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが開催されました。

寒さ厳しい中でしたが、快晴で風も弱く絶好のコンディションで楽しくプレーすることができました。

神奈川県獣医師会から2名の参加を頂き、総勢23名が熱戦を繰り広げ、上位3名が同ネットスコアという接戦のなか、北支部の大野秀樹先生が見事優勝を勝ち取りました。大野先生おめでとうございます。

成績は以下のとおりです。順位は年齢順で決定しました。

	氏名(所属)	ネットスコア
優 勝	大野 秀樹先生(北支部)	73
準 優	勝 小島 満先生(北支部)	73
第 3 位	豊泉 正重先生(西支部)	73
ベストグロス	豊泉正重先生(西支部)	85



左から 長谷川繁雄ゴルフ同好会会長、小島満先生(準優勝)、大野秀樹先生(優勝)、豊泉正重先生(3位・ベストグロス)

次回はこだまゴルフ倶楽部で6月14日木曜日を予定しています。

皆様の御参加をお待ちしております。

お知らせ

事務連絡

平成30年2月7日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 境 政 人

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について

このことについて、平成30年1月19日付け事務連絡をもって、農林水産省・消費安全局畜水産安全管理課薬事審査管理班長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令（平成30年度厚生労働省令第6号）の施行に伴い、動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令（平成30年農林水産省令第3号）が公布・施行された旨本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

事務連絡

平成30年1月19日

公益社団法人 日本獣医師会 御中

農林水産省消費・安全局

畜水産安全管理課薬事審査管理班長

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令（平成30年厚生労働省令第6号）の施行に伴い、動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令（平成30年農林水産省令第3号）が別添のとおり公布され、同日から施行されました。

今回の改正内容は下記のとおりですので、参考としてください。

記

1 改正の内容

人用医薬品の承認に係る医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則（昭和36年厚生省令第1号）の一部改正に伴い、第163条中「同部有機薬品及びその製剤の項第五号の二十五」を「同部有機薬品及びその製剤の項第五号の二十六」に改める。

2 施行期日

平成30年1月19日

※別添省略

切り抜きニュース

アライグマ専用になな 県農業技術研究センター 手先の器用さ逆手に

野生のアライグマによる農作物や住宅への被害が全国的に拡大する中、埼玉県農業技術研究センターはアライグマ専用捕獲器を開発し、特許申請した。従来の捕獲器は、ネコやタヌキといった別の動物が入ってしまうケースがあった。同センターは「アライグマ専用の捕獲器は、おそらく全国でも初めて。効率よく捕獲することで、被害防止や駆除業務の負担軽減につなげたい」としている。(三宅芳樹)

■深刻化する被害

県によると、近年は特定外来生物のアライグマが全国各地で急増。県内でも農作物の被害が深刻化し、2016年度の農作物の被害面積は9.4ヘクタール、被害金額は1610万円に及んだ。また、住宅街では屋根裏や空き家などに住み着き、ふん尿による悪臭や騒音の被害を引き起こすなど、社会問題にもなっている。

アライグマは北米が原産。1970年代にアライグマのアニメが日本で放映され、一躍ペットブームが巻き起こり、一時は数万頭が輸入された。見た目はかわいらしく、幼少期は人懐っこい性格だが、成長すると凶暴化。逃げ出したり、手に負えなくなって捨てる飼い主も相次いだ。雑食性で繁殖力も高く、天敵もいないことから、分布を拡大させているのが現状という。

■1年実験重ね工夫

生息数の増加や捕獲器設置などの対策強化により、2016年度の捕獲数は5244頭と前年度の3482頭から大幅に増加。ただ、従来の捕獲器はネコやタヌキが入ってしまうケースがあり、駆除業務の負担増にもつながっていた。

専用捕獲器はこうした課題を解消するため、農林水産省の委託事業として、有害鳥獣駆除器の製造販売を手掛ける栄工業（新潟県燕市）と共同で開発した。手先が器用なアライグマの特徴に着目

したもので、カゴの中に設置した筒の底にある餌を取ろうと手を伸ばすと、ワイヤが引っ張られて後方の扉が閉まる仕組みになっている。

発案した県農業技術研究センターの小川倫史さん（40）は「1年近く実験を繰り返し、仕掛けの位置などを調節した。これまで20頭の捕獲に成功し、ほかの動物はかかっていない」と言う。

専用捕獲器は一般販売の予定はなく、新年度から各自治体を通じて捕獲従事者に貸し出される見込み。2日に県農業大学校（熊谷市）で成果発表する。問い合わせは、同センター（☎048・536・6312）へ。

平成30年2月1日 埼玉新聞

【アライグマの県内農作物被害】（2012～16年度）

年度	2012	2013	2014	2015	2016
面積 (ヘクタール)	7.7	13.3	12.6	10.2	9.4
金額(万円)	1,949	2,381	2,341	1,889	1,610
捕獲数(頭)	2,839	2,142	3,554	3,482	5,244

犬の鳴き声で「病気になった」、 飼い主は「関係なし」… 裁判所の判断は

「犬の鳴き声がうるさくて体調不良になった」。こんな「ご近所トラブル」が争われた裁判が大阪地裁であった。大阪府内の50代の女性と80代の母親が飼い主らを相手取り、治療費や慰謝料など計約770万円の損害賠償を請求。飼い主らは「犬はきちんとしつけている」「家の壁を厚くするリフォーム工事もした」などと述べ、鳴き声は「通常の生活音の範囲内」として体調不良との因果関係はないと反論した。ご近所の犬の鳴き声は我慢できる程度のものなのか、犬の鳴き声で果たして体調不良にまでなってしまうのか。数々の疑問に対する裁判所の答えは一。

「頭を殴られたようにうるさい」

判決や訴訟記録から経緯をたどる。

現場は大阪府北部の住宅街。翻訳やエッセー本の執筆が仕事の女性は、2階建て住宅の実家で両親と暮らしていた。

平成22年、女性は隣の家や近くの家で飼われて

いる犬の鳴き声をうるさいと感じ始めるようになった。鳴き声の「発生源」とされたのは隣のAさん宅で飼われている室内犬2匹と、女性宅から西約40メートルのBさん宅で飼われている犬1匹だった。

女性の訴えによると、犬はほえだしたら30分間ほえっぱなしのときもあり、「頭を殴られるようなうるささを感じた」。女性は実家2階を仕事場にしていたが、鳴き声で集中できないことがあり、図書館で仕事をするようにもなったとして、女性の母親がAさんとBさんに配慮を求めた。

しつけ教室に防音工事も

「おとなしい性格のはずだけど…」。こう思いはしたが、Aさんは要望に応じて対策を講じた。

ほえるとセンサーが反応し、首輪から犬が嫌がる香りが噴霧される「ほえ声防止機器」を使ったり、しつけ教室に通ったり。家の防音効果を高めるため、隣と接した部屋の窓を二重にし、壁を厚くするリフォーム工事も実施した。

Bさんも女性の苦情には疑問を抱いた。そもそも女性宅とは約40メートル離れているし、犬を庭に出している時間も限られている。「なぜうるさいといわれるのだろうか」。それでも、犬がほえたときにはすぐ注意するようにしたほか、通行人を見たためにほえてしまうことがないよう、庭に高い柵を設置した。

しかし、女性はますます犬の鳴き声に対して敏感になり、体に不調を来すようになったという。

「音過敏症」と診断

女性の主張によると、平成23年秋ごろから、犬の鳴き声を聞くと血圧が上がるため、血圧をコントロールする薬を服用するように。同年10月下旬には、心療内科を受診。自律神経失調症と診断され、過敏となった神経を和らげる薬を処方してもらった。

女性は当時の体調についてこう述べている。

「犬の声が聞こえるたびに全身に針が突き刺さるような苦痛を感じるほどになった。わが家にいること自体が恐怖となった」

女性は犬と少しでも遠ざかろうと別にマンションを借り、24年2月には完全に引っ越した。だが、

症状は収まらず、体育館で合気道をする少年たちのかげ声を聞くのも気持ち悪くなるようになった。

25年に病院を受診し、「音過敏症」と診断された。聴覚が敏感になり、ささいな音が通常より大きく聞こえたり、頭や耳に響いたりした結果、いらいらしたりパニックになったりするという。

また、女性の母親も27年、ストレス性の十二指腸潰瘍で約1週間入院した。

「迷惑ではない」署名も集め

こうしたことを受け、女性と母親は同年8月、AさんとBさんに対し、約770万円の損害賠償を求める訴訟を大阪地裁に起こした。音過敏症や十二指腸潰瘍の発症は犬の鳴き声のせいだとし、AさんとBさんは飼い犬にほえる癖がつかないよう飼育すべき注意義務に違反したなどとして、治療費や慰謝料などの支払いを求めたのだ。

これに対し、Aさんは、自宅のリフォームを行い、十分な防音対策を取っていたと指摘。そのうえで「仮に犬の鳴き声が室外にもれていたとしても、通常の生活音として当然に想定されている範囲内だ」と訴えた。

また、Bさんも「これまで誰からも犬の飼い方や鳴き声について苦情を受けたことはなかった。問題なく適切に飼っている」と反論した。

さらにAさん、Bさん側は、ほかの近隣住民約30人から「飼い犬の鳴き声は迷惑ではない」とする署名も集めた。

「むしろトラブルが苦痛で体調不良に」

鋭く対立するご近所同士。判決はまず、犬の鳴き声が我慢すべき程度だったかどうかを検討した。

Aさん方の犬については、来客があるときなどに「一定程度の音量でほえていた」が、それは「日中の比較的短時間にとどまっていたと考えられる」と判断。近所の住民が鳴き声によって日常生活に大きな影響を受けていたとは考え難いとした。

また、Bさん家族の犬についても「ほえていたのは日中の比較的短時間」と認定。女性らの家とBさん宅は約40メートル離れている上、他の近所

の住民が苦情を述べたことはなく、「(鳴き声が)受忍限度を超えていたと認めることは困難」と判断した。

次は2人の体調不良だ。

女性の音過敏症については「音という物理的な要因だけでなく、心理的な要因が大きく関わっている。犬の鳴き声だけに起因するものはいえない」と指摘。

母親の十二指腸潰瘍については、母親がつけていた日記などから「犬の鳴き声に悩まされていたというよりは、むしろ音に過敏になった女性の様子や、これまで関係が良好だった隣の家との紛争で苦痛を感じていたことがうかがわれる」とした。結局、犬の鳴き声と2人の体調不良の因果関係は認められず、地裁は2人の請求を棄却。女性と母親は判決を不服として控訴したが、大阪高裁判決も1審同様、女性と母親側の訴えを退け控訴を棄却。判決は確定した。

平成30年2月14日 産経新聞

犬の問題行動 生後8週以降の「引き離し」で減少

ペットショップなどで販売する子犬を生まれた環境から引き離すのは、生後7週目より8週目以降のほうが、成長後にかみ癖など問題行動を示す割合が減ることが、麻布大の菊水健史教授(動物行動学)の調査でわかった。

調査では、ペット店などで作る「全国ペット協会」に加盟する店舗で子犬を購入した飼い主に実施したアンケート(有効回答・4033匹分)を統計的に解析。解析には、米ペンシルベニア大のジェームス・サーペル教授(動物行動学)が開発した手法を用いた。

その結果、繁殖業者から生後50~56日で出荷された子犬と生後57~69日で出荷された子犬を比べると、成長後の「見知らぬ人に対する攻撃性」や「家族への攻撃性」などの問題行動の程度に「有意な差があることが証明された」(菊水教授)という。特に大型犬については、サンプル数が限ら

れていたものの「引き離し時期の違いによる影響が相対的に強めに出ている」とする。

菊水教授は「統計的に、引き離し時期を8週齢以降にすることによって問題行動の程度に差が出ることが明らかになった。ただその差は小さかったため、犬が母体内にいる時期や出生初期の環境、遺伝などが問題行動の発生に強い影響を持っている可能性も研究していく必要がある」とする。

ログイン前の続き統計学に詳しい東大社会科学研究所の佐々木弾(だん)教授(経済学)は、「繁殖業者は飼育コストや出荷価格を考慮して子犬の出荷を急ぐ傾向がある一方、成長の遅い子犬については長めに手元に置き、相応に育ててから出荷しようとする。このため、生後8週目以降に出荷されたサンプル群は、7週目に出荷されたサンプル群よりも、相対的に体が弱かったり成熟が遅かったりする子犬たちの集団になりやすいというバイアスがかかる調査だ。しかも、生後56日と57日のように微小な差のサンプルを含む比較で有意差が出た事実は非常に重い。生まれた環境に現行法より1週間長くいることで、攻撃性などの問題行動を低減させられるという調査結果は、社会政策を考える上で大きな意味がある」と指摘する。

動物愛護法は生後56日以下の犬猫を販売目的で生まれた環境から引き離すことを禁じているが、現在は付則で「49日」に読み替えられている。今年も動愛法の見直し時期に当たり、超党派の国会議員らが本則通りの「56日」が適用されるよう法改正を目指している。

これまで欧米で行われてきた調査研究によると、子犬をあまりに若い時期に生まれた環境から引き離すと適切な社会化がなされず、人への攻撃などの問題行動を起しやすくなることがわかっている。このため米、英、フランス、ドイツなど欧米先進国の多くでは、8週齢(生後56~62日)未満の子犬を販売目的で生まれた環境から引き離すことを禁じる「8週齢規制」が導入されている。

(太田匡彦)

平成30年2月15日 朝日新聞

平成29年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成30年2月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
平成29年4月			
5月			
6月16日(金) ～18日(日)	第94回日本獣医麻酔外科学会／第106回日本獣医循環器学会／第61回日本獣医画像診断学会 2017春季合同学会(さいたま市 大宮ソニックシティ)		
6月25日(日)		北支部 「犬猫の止血異常の診断と治療」 日本大学 亘 敏広 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
7月17日 (祝・月)		東支部 「犬のリンパ腫2017」 日本小動物がんセンター 小林 哲也 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
8月			
9月10日(日)	平成29年度 関東・東京合同地区獣医師大会(東京) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (東京都千代田区 都市センターホテル)		
9月24日(日)		南支部 「犬の慢性腎臓病 管理の実際」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
10月1日(日)		東支部 「肝臓疾患の診断を極める！」 どうぶつの総合病院 浅川 翠 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月20日(金)	北支部・しゃくなげ会 「教育現場における産業動物診療について」 麻布大学 佐藤 礼一郎 先生 (熊谷市 埼玉県熊谷家畜保健衛生所)		
10月22日(日)		西支部 「呼吸器疾患の診断と治療」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (川越市 川越南文化会館)	
11月19日(日)		東支部 「神経病学を究める！」 どうぶつの総合病院／埼玉動物医療センター 金園 晨一 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月17日(日)		南支部 「腫瘍外科の考え方」 日本獣医生命科学大学 皆上 大吾 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
12月22日(金)	農林支部 平成29年度埼玉県家畜保健衛生 生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成30年 1月21日(日)		さいたま市支部 「視診・触診からの整形外科疾患へのアプローチ 前肢編」 DVMsどうぶつ診療センター横浜 小林聡 先生 (さいたま市 WithYouさいたま)	
1月23日(日)			衛生支部 健康福祉研究発表会 (さいたま市 県民健康センター)
1月28日(日)		西支部 「皮膚科治療アップデート」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月4日(日)		北支部 「小動物の腫瘍について」 日本小動物がんセンター 小林 哲也 先生 (深谷市 深谷市男女共同参画推進センター)	
2月10日(土)～ 12日(月・祝)	平成29年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(大分) (別部国際コンベンションセンター)		
2月21日(水)			衛生支部 食肉衛生技術研修会 (さいたま市 県食肉衛生検査センター)
2月25日(日)		西支部 「抗てんかん薬の使用法・てんかん重積への対処」 どうぶつの総合病院／埼玉動物医療センター 金園 晨一 先生 (東松山市 ホテル紫雲閣)	
3月4日(日)		さいたま市支部 「視診・触診からの整形外科疾患へのアプローチ 後肢編」 DVMsどうぶつ診療センター横浜 小林聡 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
3月25日(日)		南支部 「腹部超音波検査(主要臓器の読影)」 どうぶつの総合病院 福田 祥子 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>
ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | |
|-----------|---|---|
| 1月21日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 WithYouさいたま） | 紫雲閣） |
| 1月26日 | 損害評価課会家畜共済部会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 2月28日 文部科学省委託事業中間報告会（A P 東京 東京都中央区） |
| 1月28日 | 西支部学術講習会（川越市 川越文化会館） | 3月2日 第4回狂犬病予防委員会 第2回班長会議（さいたま市 農業共済会館） |
| 1月31日 | 平成29年度埼玉県狂犬病予防協会研修会（桶川市 さいたま文学館） | 3月4日 さいたま市支部学術講習会（さいたま市 大宮ソニックシティ） |
| 2月2日 | 所得税確定申告・相続等個別相談会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 3月8日 埼玉県畜産会役員会（熊谷市 ホテルヘリテイジ） |
| 2月2日 | 埼玉県農業技術研究センター試験研究成果発表会（熊谷市 埼玉県農業大学校） | 3月11日 埼玉県獣医師会ボウリング大会（さいたま市 スポーツ浦和国际ボウル） |
| 2月3日 | 埼玉県医師会（創立70周年記念）新年会（さいたま市 パレスホテル大宮） | 3月14日 第4回総務委員会（さいたま市 農業共済会館） |
| 2月4日 | 北支部学術講習会（深谷市 深谷市男女共同参画推進センター） | 3月16日 第6回理事会（さいたま市 農業共済会館） |
| 2月4日 | 日本獣医師会小動物臨床講習会（東京都中野区 中野サンプラザ） | 3月23日 平成29年度学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校卒業式（さいたま市 パレスホテル大宮） |
| 2月6日 | 家畜伝染病等危機管理対策強化講習会（東京都千代田区 TKP御茶ノ水カンファレンスセンター） | 3月25日 南支部学術講習会（さいたま市 大宮ソニックシティ） |
| 2月10日 | 日本獣医師連盟通常総会（大分市 レンブラントホテル大分） | 3月26日 埼玉県オーエスキー病防疫協議会（さいたま市 埼玉会館） |
| 2月10日～12日 | 平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大分）（大分県別府市 別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ） | 3月29日～4月1日 インターペット2018（東京都江東区 東京ビッグサイト） |
| 2月15日 | 家畜人工授精優良技術発表会全国大会（東京都港区 ヤクルトホール） | 4月15日 関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会（茨城県つくば市 つくば国際会議場） |
| 2月16日～18日 | 第14回日本獣医内科学アカデミー学術大会（神奈川県横浜市 パシフィコ横浜） | 6月22日 第75回日本獣医師会通常総会（東京都港区 明治記念館） |
| 2月18日 | 関東・東京合同地区獣医師会理事会（東京都千代田区 都市センターホテル） | 9月9日 平成30年度関東・東京合同地区獣医師大会（茨城）、獣医学術関東・東京合同地区学会（茨城県つくば市 つくば国際会議場） |
| 2月20日 | 文部科学省委託事業成果報告会（東京都中央区 A P 東京） | 11月30日 平成30年度全国獣医師会会長会議（東京都千代田区 パレスホテル東京） |
| 2月21日 | 集合狂犬病予防注射資材売買契約会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 12月1日 2018動物感謝デー in JAPAN（東京都世田谷区 駒沢オリンピック公園） |
| 2月25日 | 西支部学術講習会（東松山市 ホテル | |

編集後記

立春も過ぎ暦の上では春ですが、今年はラニーニャ現象により偏西風が蛇行し、シベリア寒気団が大きく南下し日本列島をすっぽりと覆っています。とは言え、白梅が咲きほんのりと梅の香が漂う頃となりました。時は元禄、江戸も同じように寒さのぶり返しなどがあったころ、芭蕉は

『むめが香に 追もどさるる 寒さかな』
と詠んでいます。

冬季オリンピックが大韓民国・平昌で開催されています。ナショナリズムを刺激する国別のメダル獲得よりも、鍛え抜かれた者の演技や競技に感動することも少なくありません。スピードスケートの小平選手は、極限のスピードを獲得するために身体と精神力を鍛え上げ、結果として女子500mスピードスケートでオリンピックレコードを記録しました。この勝因は、選手を支えた多くの人々と最強のライバルが存在したことも大きな要因であったことが推察されました。レース後に2着のイサンファ選手と互いの健闘を称えるかのように肩を抱き合いながらのウィニングランの姿は多くの観客に感動を与えました。金メダル獲得後のインタビューで『金メダルをもらうのは名誉なことですが、どういう人生を生きてゆくかが大事になると思う』とコメントしていました。競技をすることの目的と目標の違いを如実に語っています。レースで勝つことはオリンピックであっても目的ではなく、競技を通しての人間形成こそがその目的であり、勝利することは単にひとつの目標に過ぎません。スピードスケートの世界において人間の限界に挑む小平さんとイさんの姿は、崇高な求道者として多くの人びとの心に映し出され、我々に感動を与えてくれました。スポーツ競技はとかく帰属意識の発揚、国威発揚に用いられがちです。スポーツの本来の目的は人間形成です。メダルという結果よりも、人間の能力を極限までに鍛え上げ、試合という一瞬の場でその

成果を完全に表現する人間の技を楽しみたいものです。

昨年ノーベル文学賞受賞者のカズオ・イシグロ氏の『わたしを離さないで』では、臓器提供のために生み出されたクローン人間が登場します。臓器提供4回が終わるとその役割が終わると表現されていて『死』と言う言葉は使われていません。クローン人間は人間の姿や形をしていても人間ではないという暗示なのでしょう。今年、文部科学省は、ヒトのiPS細胞(人工多能性幹細胞)を入れた動物の受精胚を動物の子宮に着床させて、出産させることを容認しました。動物をヒトの移植用臓器製造の道具にする第一歩が踏み出されます。人間の『生存』に対する限らない欲望は、医療技術を発展させてきました。獣医学は動物の生命を対象とし、獣医療は病気を有する動物とともにその動物を愛する人々をも対象として位置づけます。動物の胚は獣医学の対象であり、ヒト幹細胞は医学の対象です。学際的領域とはいえ、その成果はヒトへの適用を指向しているため医学主導で研究は進められていることでしょう。しかし、現に動物の生命誕生に関わる生命倫理の根幹に関わる事項に獣医学者や獣医療に関わる獣医師が傍観していて良いのでしょうか。

生命科学に直接携わることのない文学者やそれに関わる人々でさえ、生命誕生に関わるクローン技術に関心と危機感を持ち始めています。医学や獣医学といった生命科学は、scienceとartから成り立つと言われています。生存欲を満たすための技術が先行し、医療技術を病気を有する生命体に施す際に最も求められる仁術の出番が抑制されているようにも思われる昨今です。

国境や学問の壁を越えて存在する生命倫理に思いを致して、人々の胸に響く学問を実践したいものです。梅の香とともに2月号の会報をお届けいたします。
(初雁)

広告



株式会社 **アスコ**
<http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
 人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本社

〒441-8021
 愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821
 FAX 0532-33-3611

**営業所
所在地**

- ・東日本支店
 児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
 東京、大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
 豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
 広島、福山、山口、米子、岡山
 大阪、京都

広告

皮膚・被毛 腸内環境 抗酸化成分

胃腸と皮膚が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.1
 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg

抗酸化成分 心臓・腎臓 活力の維持

血流と健康が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.2
 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg

国産品 小分けパック 毛玉対応

下部尿路が気になる成猫に



ドクターイデア
Dr. IDEA No.1
 成猫用 総合栄養食 150g×6入

森久保薬品株式会社 神奈川：046-221-0620 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
 三郷：048-948-2112 山梨：055-224-5278 栃木：028-666-3399 茨城：029-241-3131
 ツクバ：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

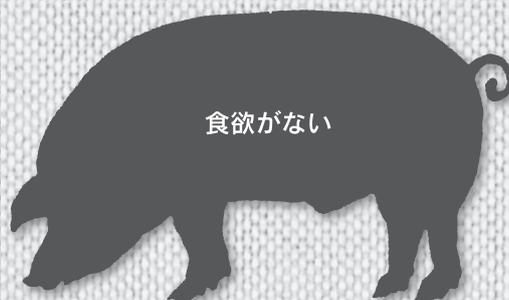
わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>